9つの機能のマニュアル

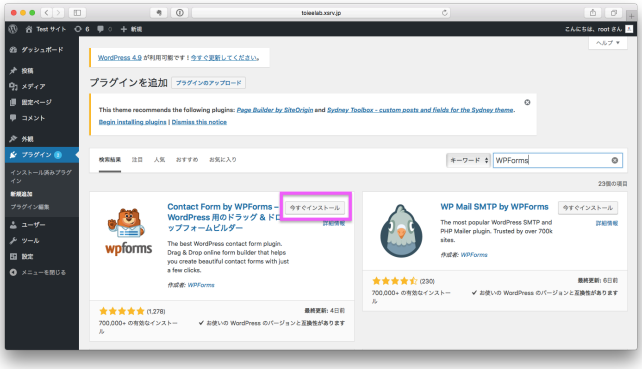
このマニュアルでは、toiee Labがオススメする9つのプラグインの基本的な使い方について解説します。

目次

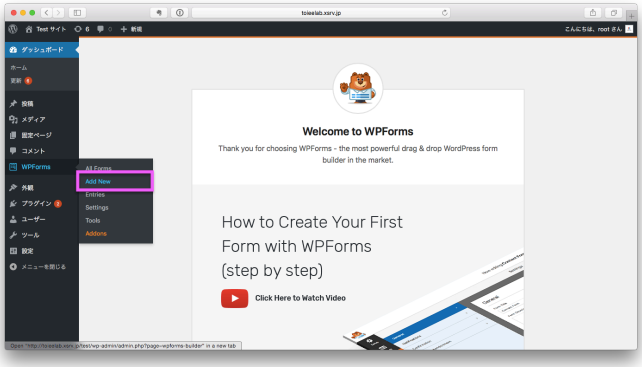
1. **WPForms**：申し込みフォームを簡単に作ることができる機能
2. **WP Mail SMTP by WPForms**：指定したSMTPサーバを使ってメールを送信できる機能
3. **Shortcodes Ultimate**：サイトの見た目を綺麗に見やすくするための「おまじないセット」。文字や画像の装飾など基本的なものから、最新のデザインの機能までを網羅
4. **Redirection**：簡単に、URLを別のURLへとリダイレクトできる機能
5. **Nested Pages**：固定ページの管理画面を、圧倒的に使いやすくするための機能。順番を入れ替えたりサイトの階層構造などを簡単に作ることもできる
6. **SHK Hide Title**：サイトに表示される「ページタイトル」を見えないようする機能
7. **Display Posts Shortcode**：投稿(ブログ)の一覧などを、あらゆるページ内に自由に表示させる機能
8. **WP External Links**：サイト内の外部リンクを、自動で別ウィンドウ（新規ウィンドウ）で開く機能
9. **Jetpack by WordPress.com**：人気ページとその閲覧数や、よく使われている検索キーワードなどサイトのアクセス解析を簡単にできる

WPForms

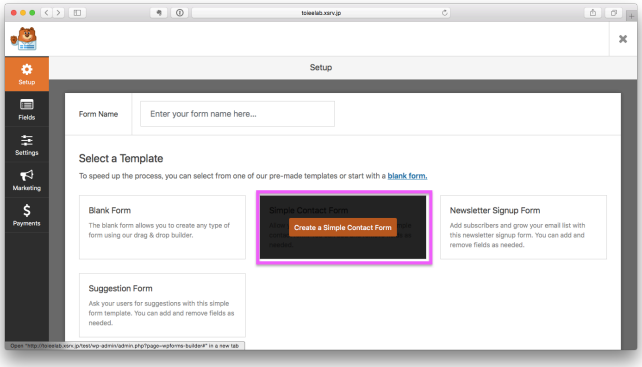
申し込みフォームを簡単に作ることができる「WPForms」というプラグインについて解説します。



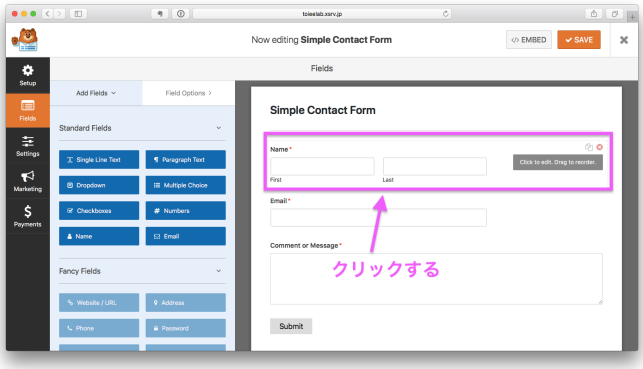
(1) 「WPForms」を検索して、インストールし、有効化する

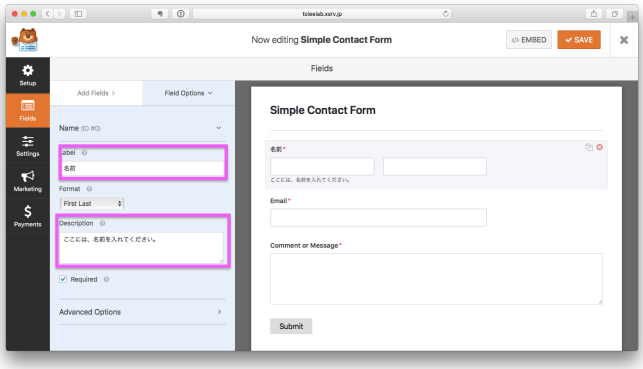


(2) ダッシュボードから WPForms > Add New と移動する



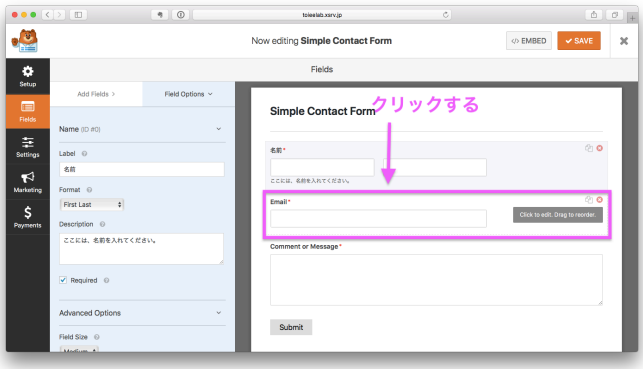
(3) Simple Contact Form を選択する

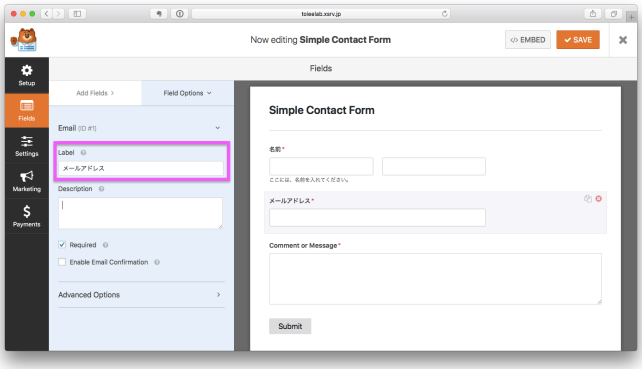




(4) 必要な項目を入力し、「名前」欄を作る

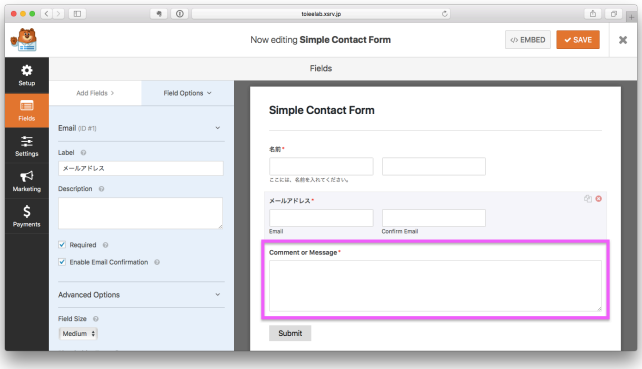
> 「Required」という項目にチェックを入れると、入力必須項目にすることができる
>
> また「Advanced Options」の「Hide Sub-Labels」という項目にチェックを入れると、名前の項目の下の「First」「Last」という表示を消すことができる

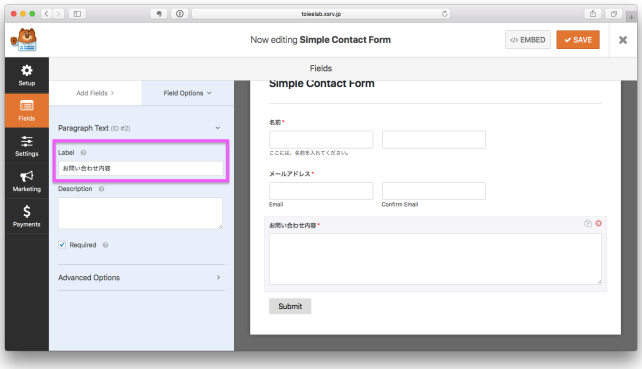




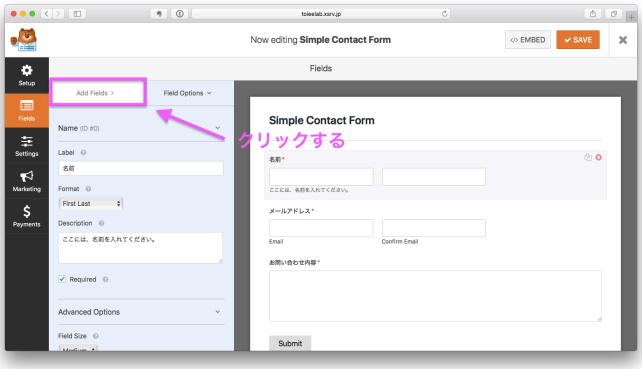
(5) 必要な項目を入力し、「メールアドレス」欄を作る

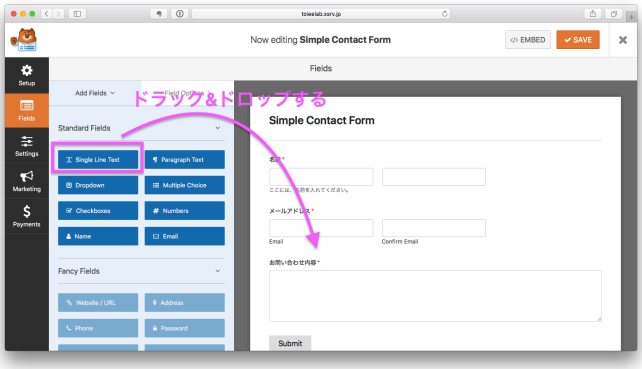
> 「Enable Email Confirmation」にチェックを入れると、確認用にメールアドレスを2回入力してもらう設定にできる

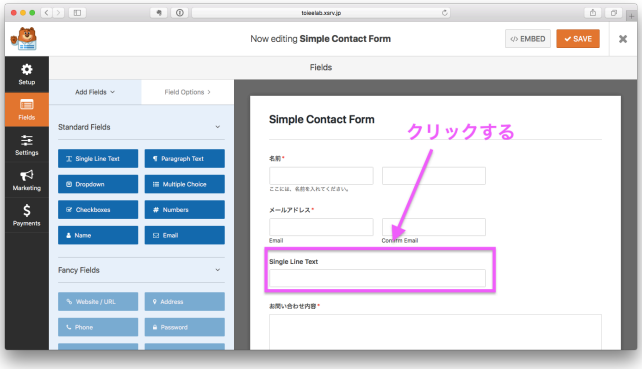


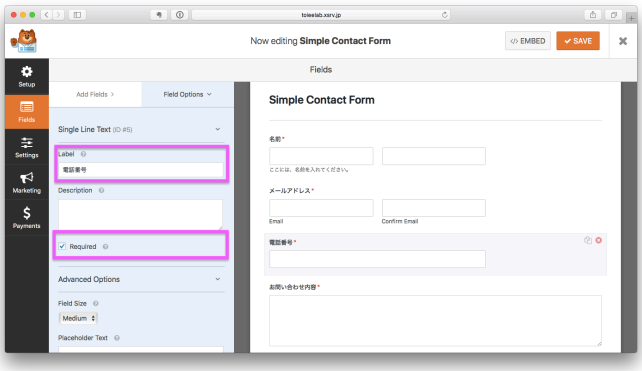


(6) 必要な項目を入力し、「お問い合わせ内容」欄を作る

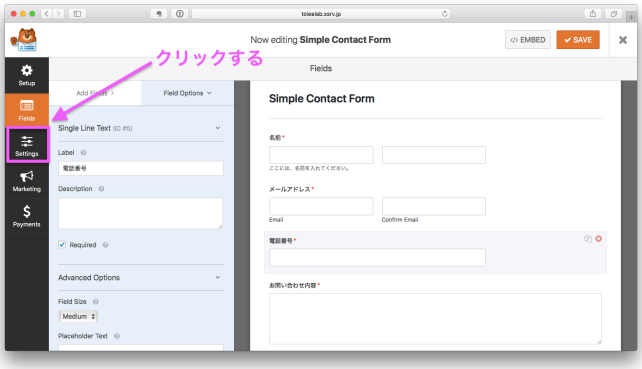




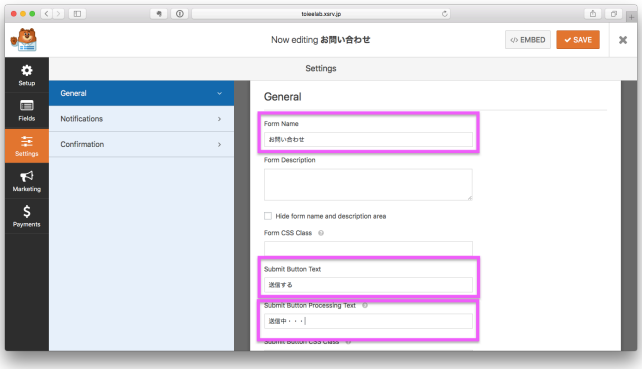




(7) 「電話番号」という欄を新たに作成する

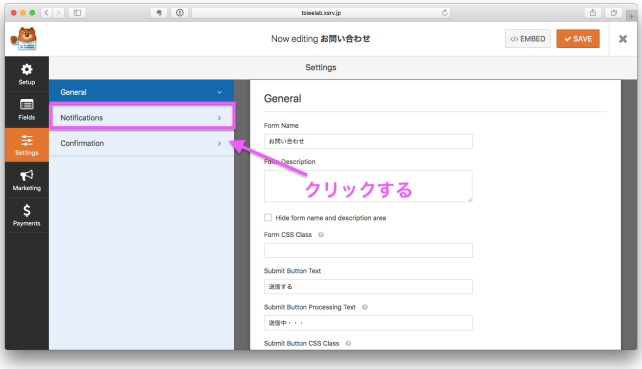


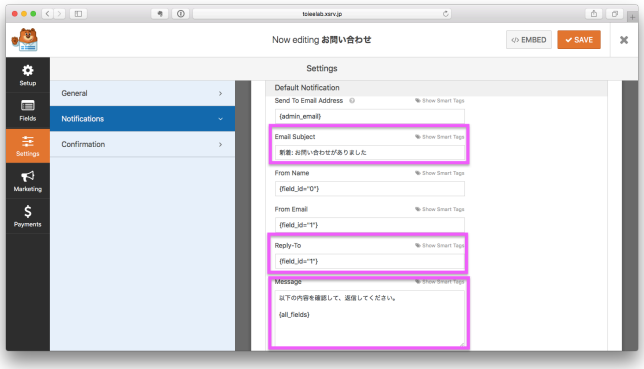
(8) 「Settings」の項目に移動する



(9) 「General」の3項目を入力する

> 「Form Name」には、このフォームの名前を入力する
>
> 「Submit Button Text」では、フォームのボタンに入れる文字を設定できる。「送信」や「登録する」などを入力してください
>
> 「Submit Button Processing Text」では、フォームのボタンをクリックしてから、送信するまでの間に表示される文字を設定できる。「送信中」などと入力してください

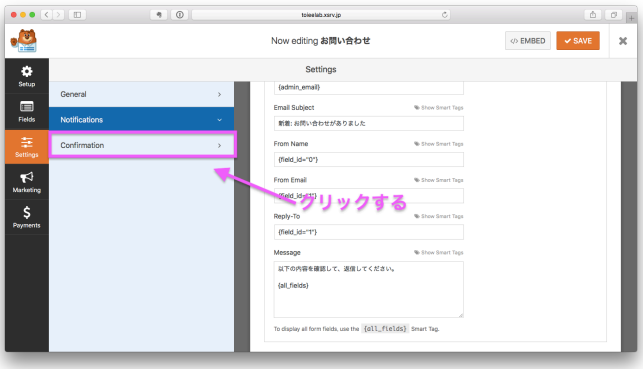


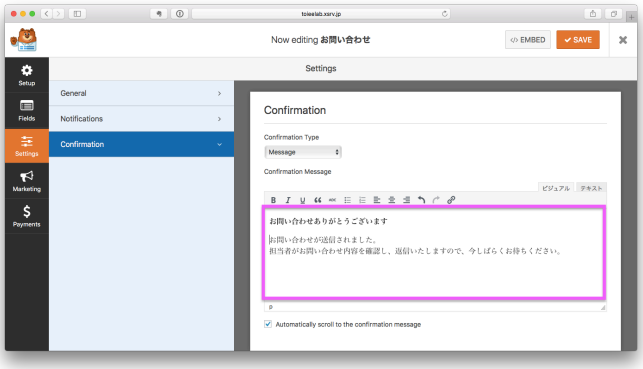


(10) 「Notifications」の3項目を入力する

> **Send To Email Address**：
> ここには、「お問い合わせ」のお知らせメールをどのメールアドレスに送るかを設定できる。
>
> **{admin_email}** と設定すると、WordPressに登録しているあなたのメールアドレスに届きます。
>
> 他のメールアドレスにも通知を送りたい場合は、アドレスをコンマで区切ると設定できます。(例：{admin_email},test@toiee.jp)
>
> **Email Subject**:
> あなたに送られてくる「お問い合わせお知らせメール」の件名を設定することができます。
>
> **From Name**:
> このお問い合わせを送ってきた方の、名前を設定することができます。
>
> {field_id="0"} と入力すると、先ほど作成した「名前欄」で問い合わせ主が入力した値が自動で入ります。
>
> **From Email**：
> このお問い合わせを送ってきた方の、メールアドレスを設定することができます。
>
> {field_id="1"} と入力すると、先ほど作成した「メールアドレス欄」で問い合わせ主が入力した値が自動で入ります。
>
> **Reply-To**：
> 「お問い合わせお知らせメール」に返信をするときに、どのメールアドレスに返信を送るかを設定することができます。
>
> {field_id="1"} と入力すると、先ほど作成した「メールアドレス欄」で問い合わせ主が入力した値が自動で入るので、返信は「お問い合わせ主」に届きます。
>
> **Message**：
> 「お問い合わせお知らせメール」の本文を設定できます。
>
> {all_fields} と設定しておくと、作成したお問い合わせ項目欄の回答全てを表示させることがで

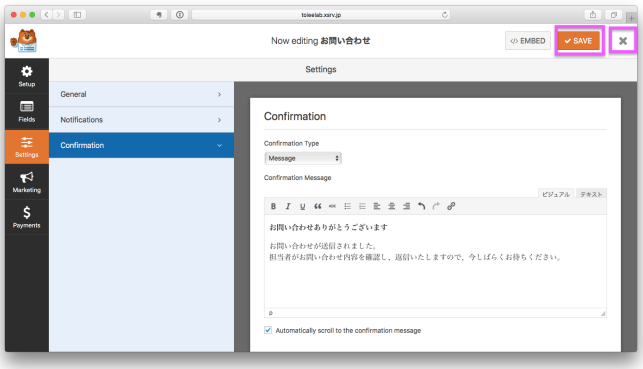
> きます。



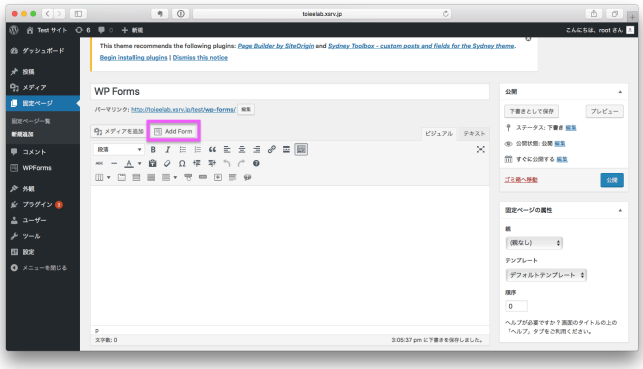


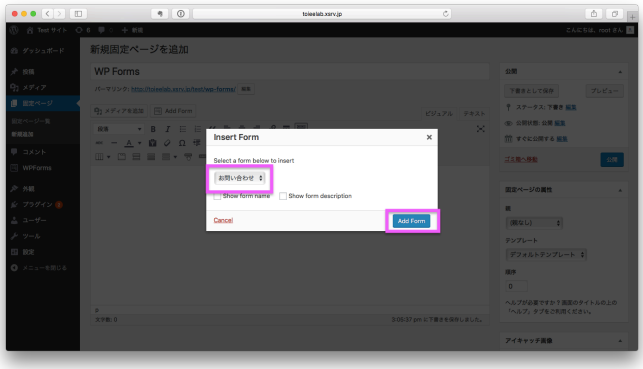
(11) 「Confirmation」の項目を入力する

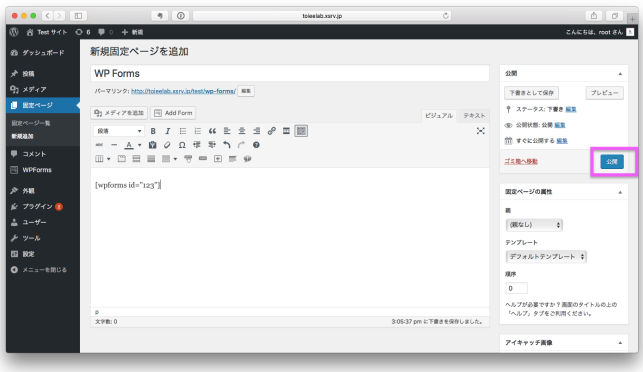
> Confirmationでは、お問い合わせ完了後の、メッセージを設定できる。
>
> 「Confirmation Type」から、ページを移動する設定にしたり、他サイトへリダイレクトする設定を行うこともできます



(12) 「Save」をクリックして、「X」で閉じる







(13) お問い合わせフォームを挿入したいページに移動して、おまじないを貼り付ける

WP Mail SMTP by WPForms

指定したSMTPサーバを使ってメールを送信できる「WP Mail SMTP by WPForms」について解説します。

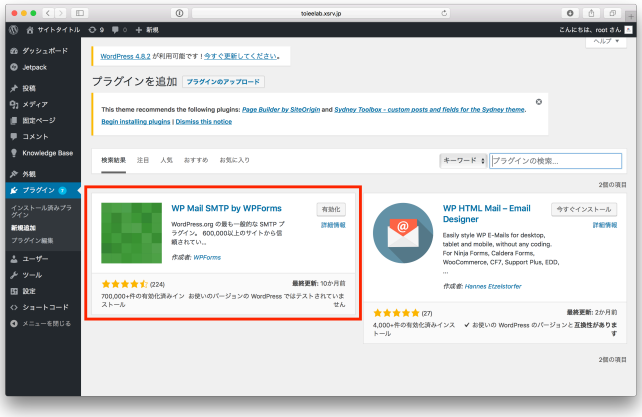
WordPressでフォームを設置したり、何らかの通知メールを使う場合、SMTPサーバー設定を行うことがオススメです。レンタルサーバー、ドメインの仕組みから、メールが届かない場合などにも有効です。

基本的にレンタルサーバー上から、プログラムによってメールを送ると、迷惑メールになる可能性が高いです。また、安いレンタルサーバーでは、一日に100通以上はメール送信できません。

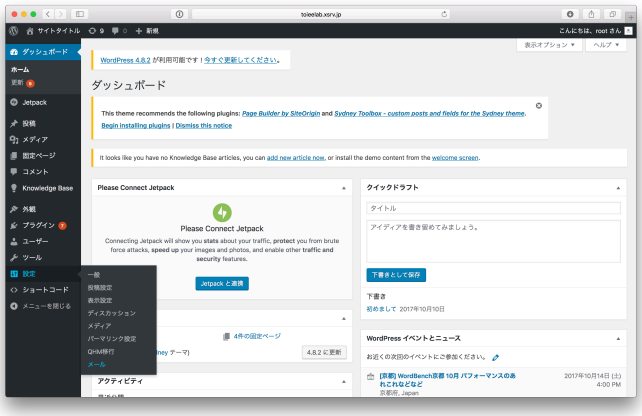
月額1,000円以上でも、300通程度など制限が多いです。 一般的に、ここで説明する「外部のメール送信サーバー（SMTP : Send Mail Transfer Protocol) を使うことが一般的になっています。

なぜ、届かないか？については、様々な要因がありますが、基本的に２つだけです。

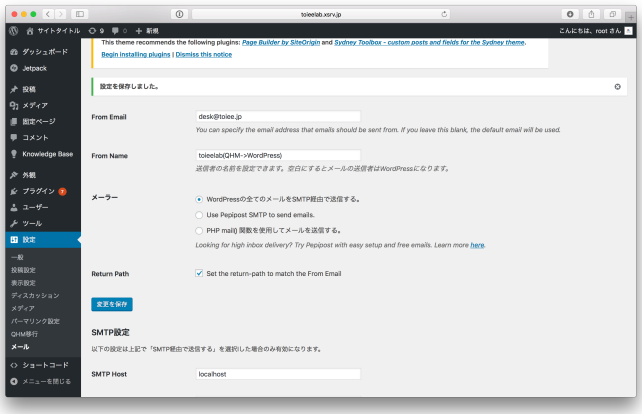
1. サーバーがメール送信機能を持っていない
2. MXレコードの参照が間違っている です。



(1) WP Mail SMTP by WPForms プラグインをインストールし、有効化する

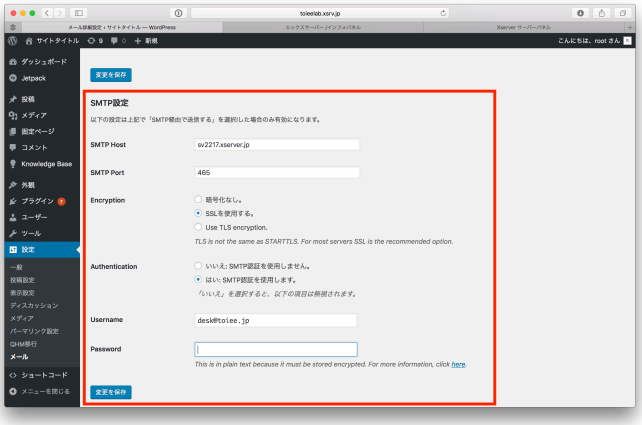


(2) ダッシュボードの左部分より、「編集」=>「メール」を選択



(3) 必要な項目を入力する

項目	入力する内容
From Email	あなたのメールアドレスを入力する（gmailやyahooなど）
From Name	あなたの企業の名前やサイトの名前を入力しましょう
メーラー	「WordPressの全てのメールをSMTP経由で送信する。」にチェックを入れる
Return Path	「Set the return-path to match the From Email」にチェックを入れる

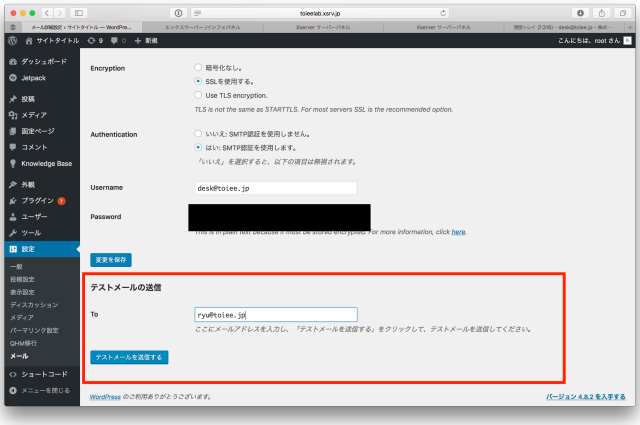


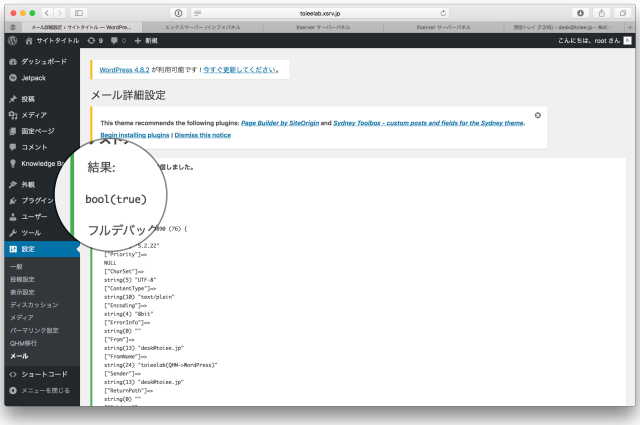
(4) SMTP設定をする

項目	入力する内容
SMTP Host	smtp.gmail.com (※1 お使いのサーバーにアクセスして、メールサーバー情報を獲得してください)
SMTP Port	465
Encryption	「SSLを使用する。」を選択する
Authentication	「はい: SMTP認証を使用します。」を選択する

Username	あなたのGmailのメールアドレスを入力してください

> ※1 gmailを使っている場合は、「smtp.gmail.com」をご利用下さい。





(5) テストメールを送信する

> true と出れば完了。falseと出たら入力にミスがあるので、再度やり直してください。

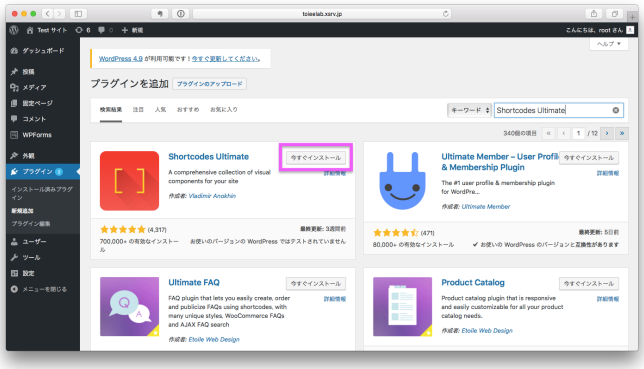
※ YahooメールやXサーバーのメールなどを使われている方は、以下のページでも詳しく解説しておりますので、合わせてご覧ください。

https://help.toiee.jp/article/83-wp-smtp-setting

Shortcodes Ultimate

サイトの見た目を綺麗に見やすくするための「おまじないセット」である「Shortcodes Ultimate」について解説します。

1. Shortcodes Ultimate をインストール



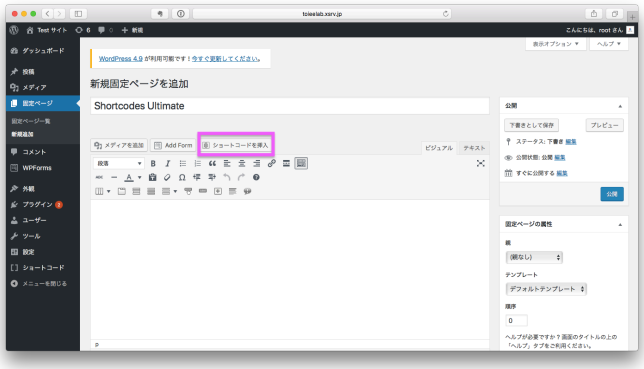
(1) 「Shortcodes Ultimate」を検索して、インストールし、有効化する

2. 基本的な使い方

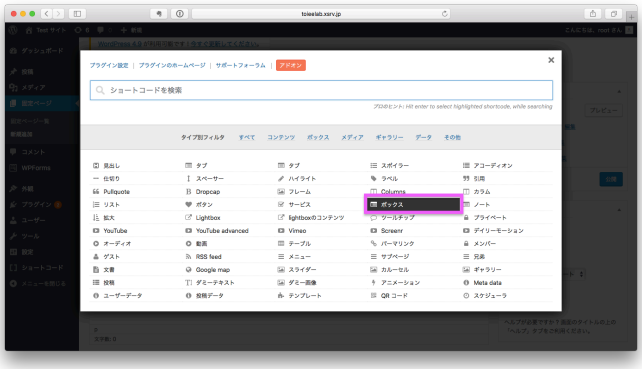
「Shortcodes Ultimate」は、「おまじないセット」のプラグインです。

あなたが「おまじない」を使用したいページの編集画面で、「おまじない」を挿入してください。

「おまじない」の挿入方法は、以下をご覧ください。

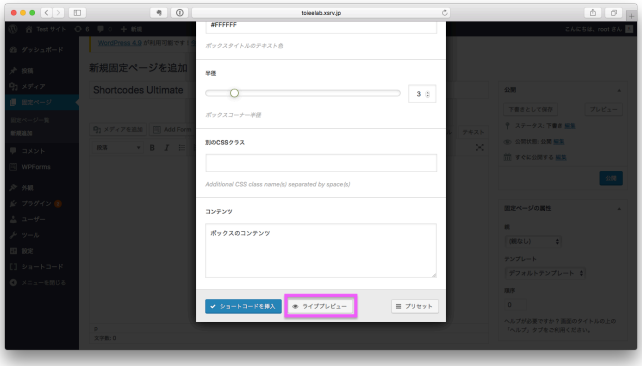


(1) 「ショートコードを挿入」をクリックする

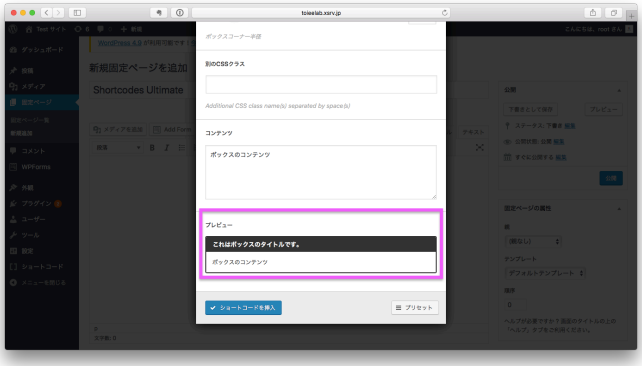


(2) 使いたい「おまじない（ショートコード）」を選ぶ

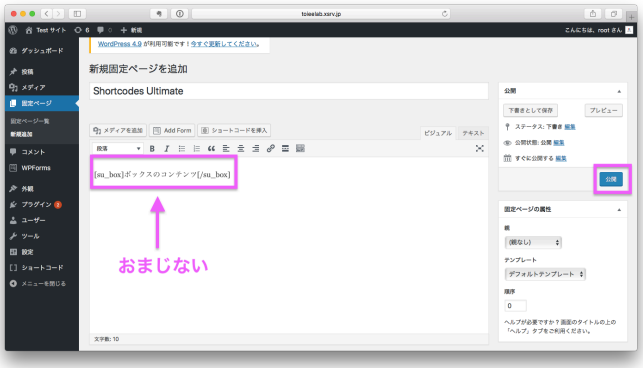
(3) 各項目を編集する



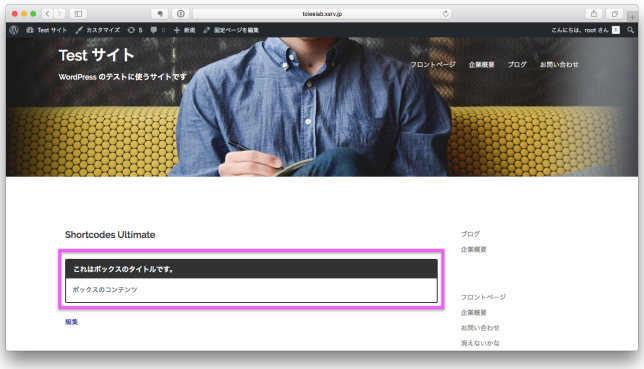
(4) 「ライブプレビュー」をクリックして、実際の見た目を確かめる



(5) 「ライブプレビュー」の結果を確認する



(6) 「おまじない」が挿入されたことを確認して、「更新」をクリック

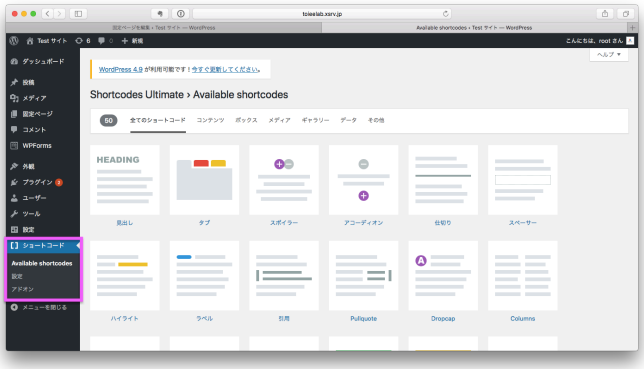


(7) 実際にサイトに表示されているところを確認する

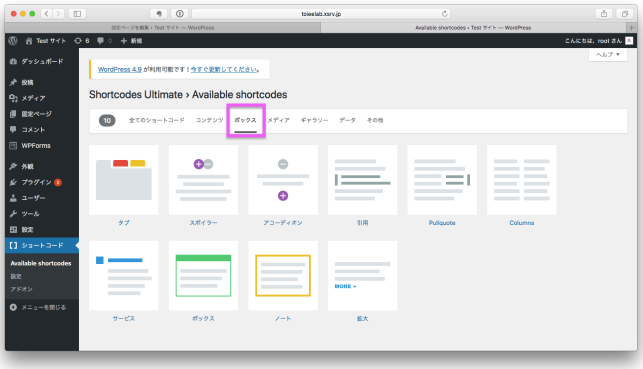
3. 各おまじないの使い方

「おまじない（ショートコード）」を使っていると、使い方が分からないことがあると思います。

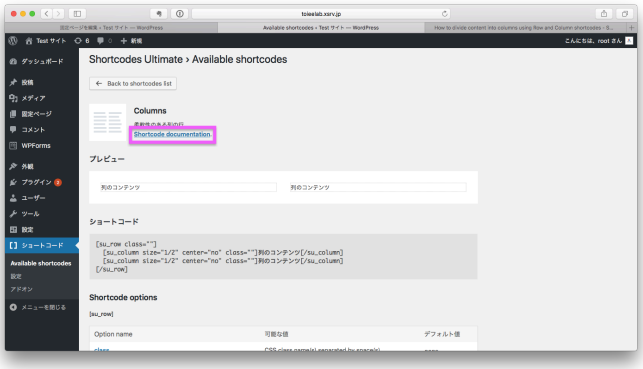
その場合は、ショートコード > Available shortcodes と移動して、各「おまじない（ショートコード）」の使い方を確認してください。



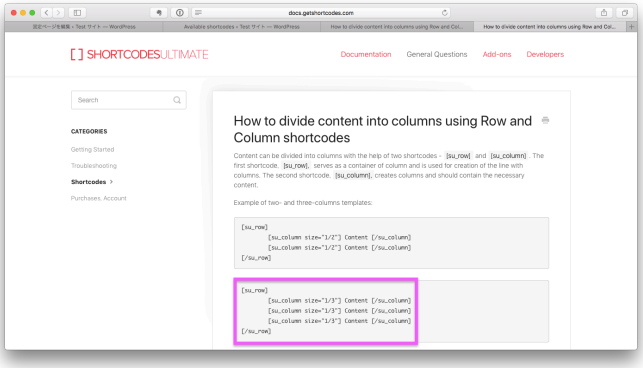
例:Columns（段組）の使い方を調べてみる



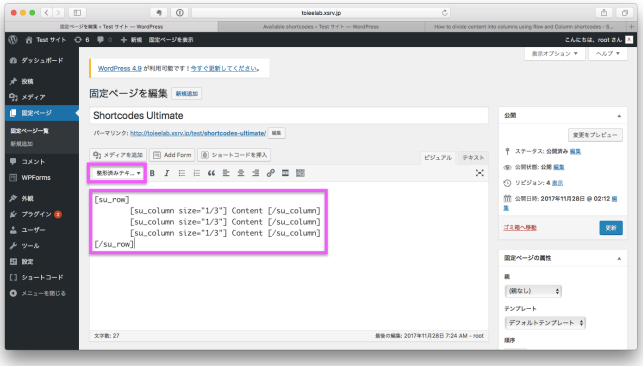
(1) 「ボックス」というカテゴリーで絞り込む



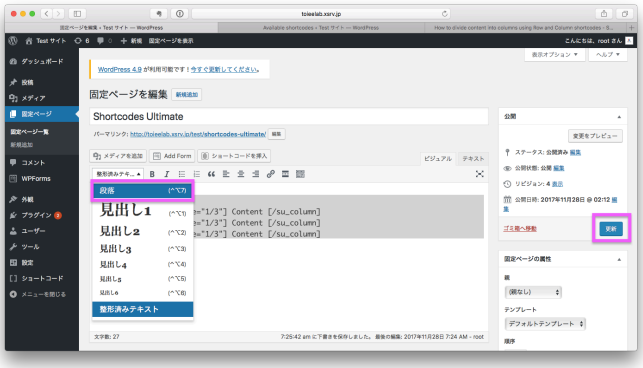
(2) ページの説明をざっと読み、ドキュメントにも目を通す



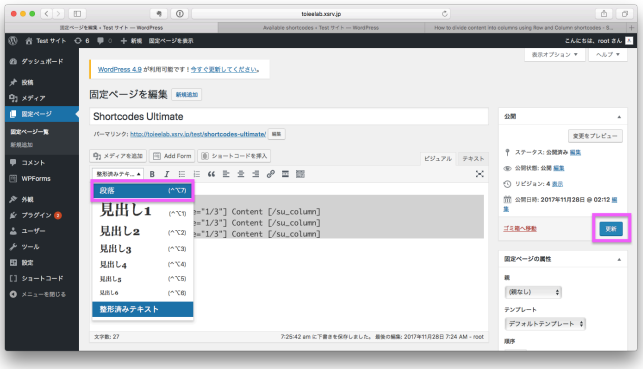
(3) size="3/1"となっているものをコピーして、試してみる



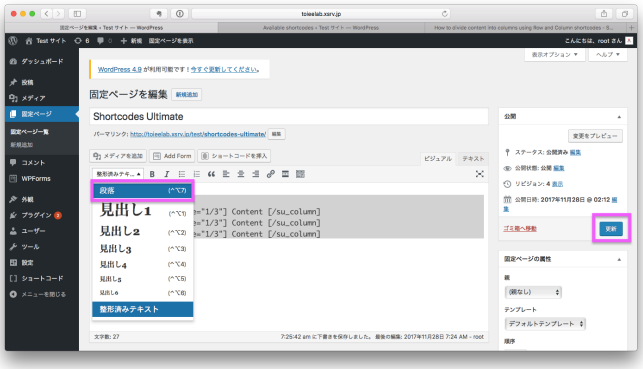
(4) そのまま貼り付けると、「整形済みテキスト」となって、うまく表示されない



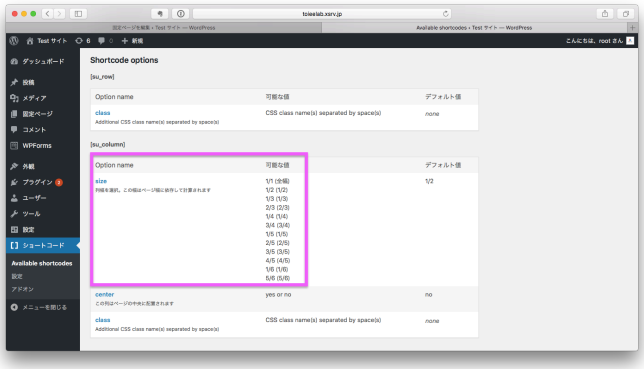
(5) 「段落」に修正して、「更新」をクリックする



(6) 「段落」に修正して、「更新」をクリックする



(7) 実際のページを確認し、1/3の段組が3つ入っていることを確認する

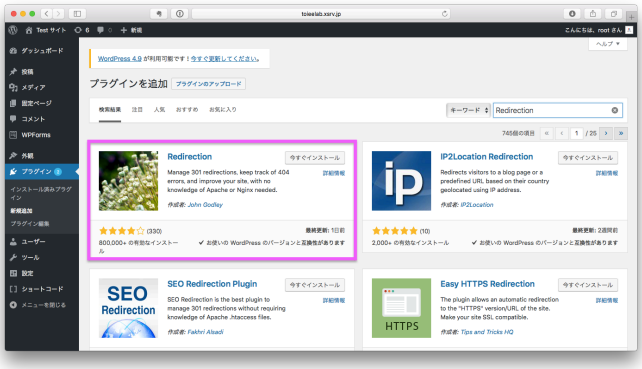


(8) 色んなサイズを試してみる。また、色々なサイズの組み合わせも試してみる

Redirection

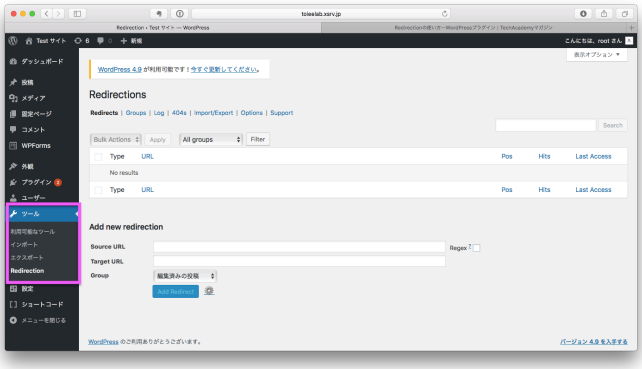
簡単に、URLを別のURLへとリダイレクトできる「Redirection」について解説します。

Redirectionをインストール

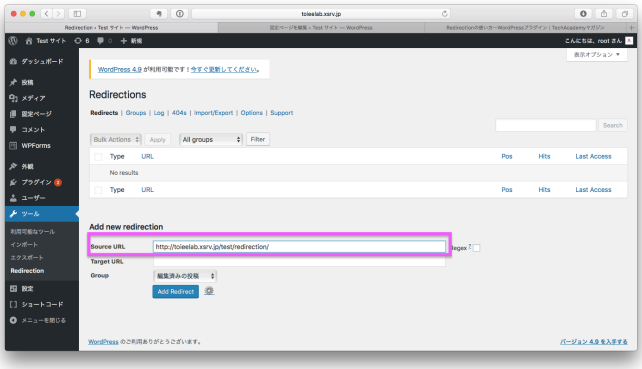


(1) 「Redirection」を検索して、インストールし、有効化する

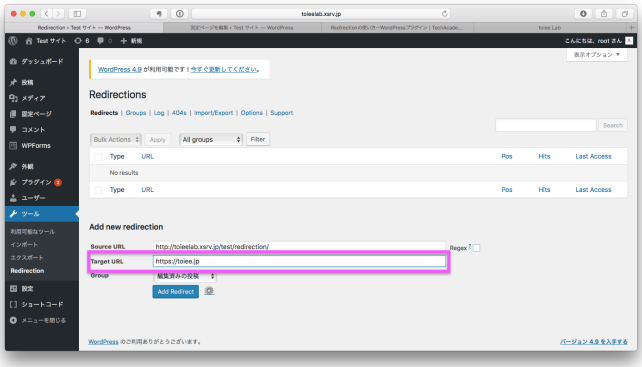
基本的な使い方



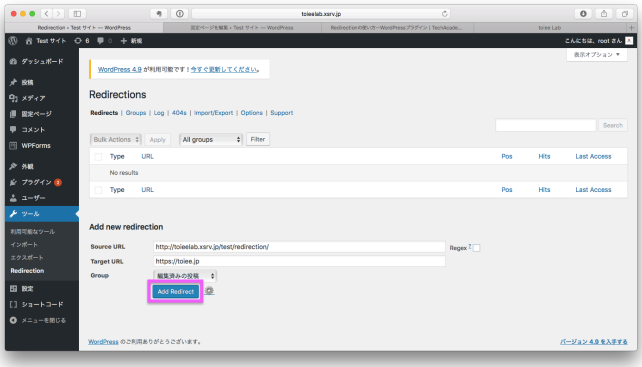
(1) ツール > Redirection と移動する



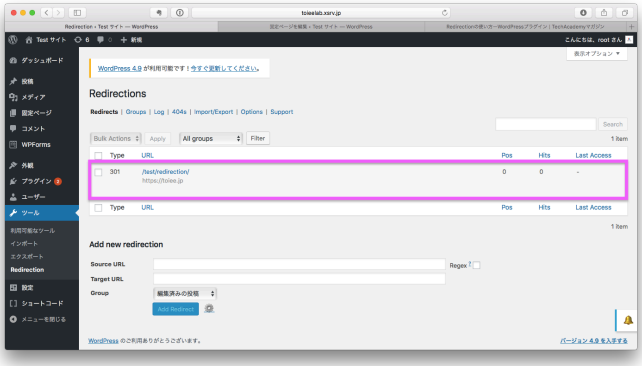
(2) 「Source URL」に転送元のURLを入力します



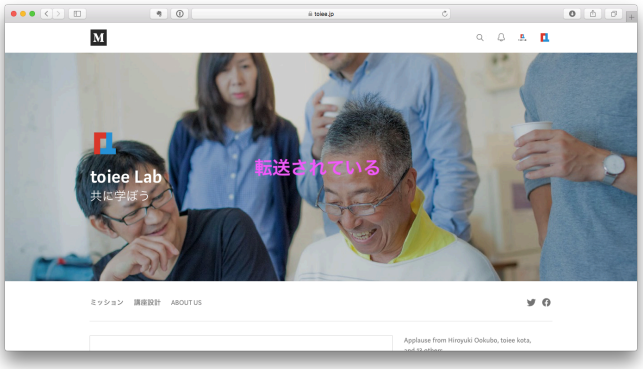
(3) 「Target URL」に転送先のURLを入力します



(4) 「Add Redirect」をクリックします

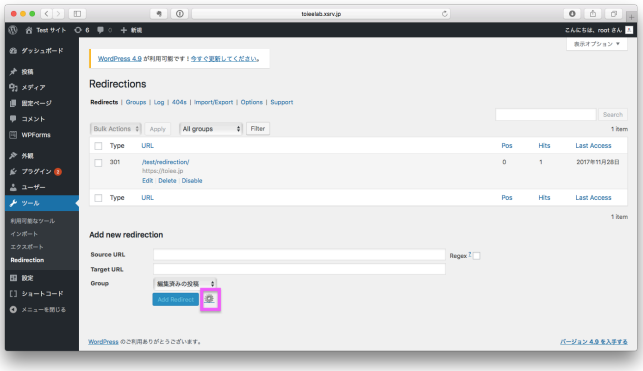


(5) リダイレクトが追加されています

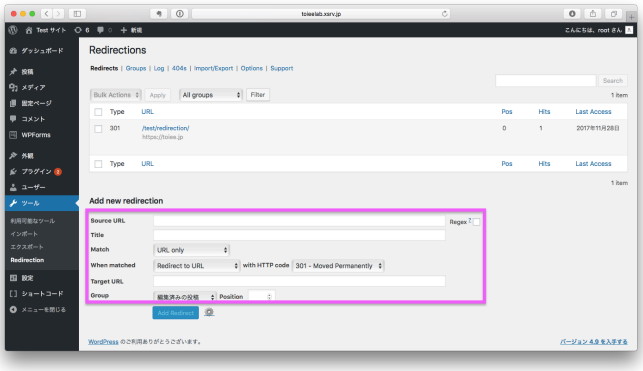


(6) 転送元のURLにアクセスすると、転送先のページへリダイレクトされている

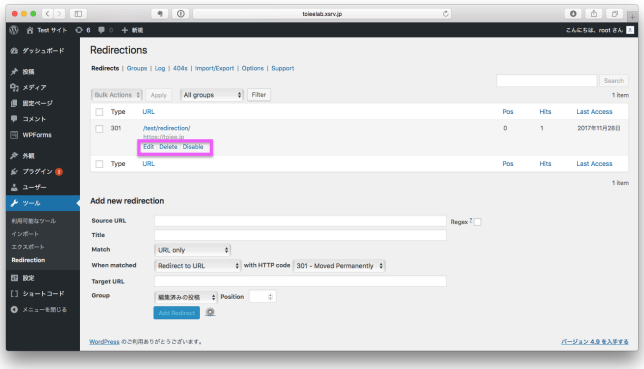
細かい設定方法



(1) 歯車マークをクリックする



(2) 詳細な設定ができるようになります

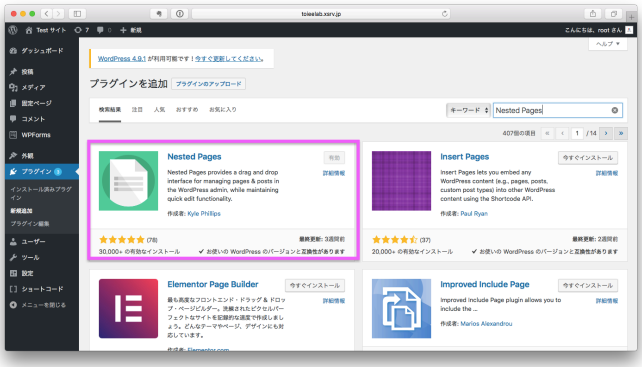


(3) 作成したリダイレクトの「編集（Edit）「削除(Delete)」「無効化(Disable)」は、画像のピンクの枠部分からできます

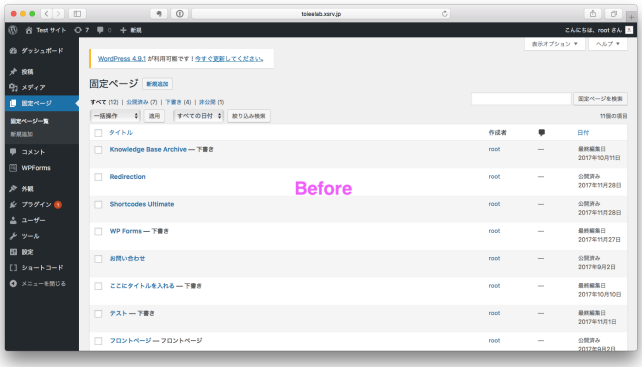
Nested Pages

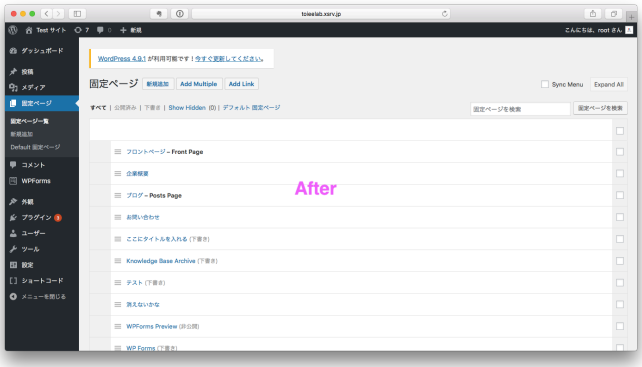
固定ページの管理画面を、圧倒的に使いやすくするためのプラグインです。順番を入れ替えたりサイトの階層構造などを簡単に作ることもできるので、ページ数が多い方などには特にオススメです。

Nested Pagesをインストール

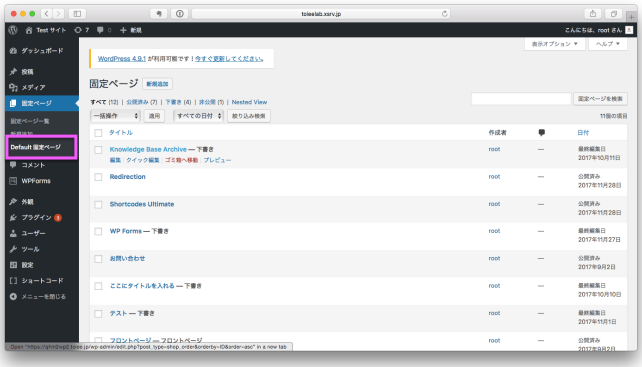


(1) 「Nested Pages」を検索して、インストールし、有効化する





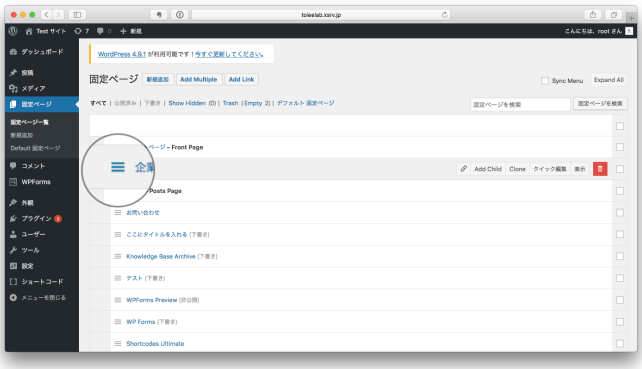
(2) 有効化すると、固定ページの表示方法が変更されている



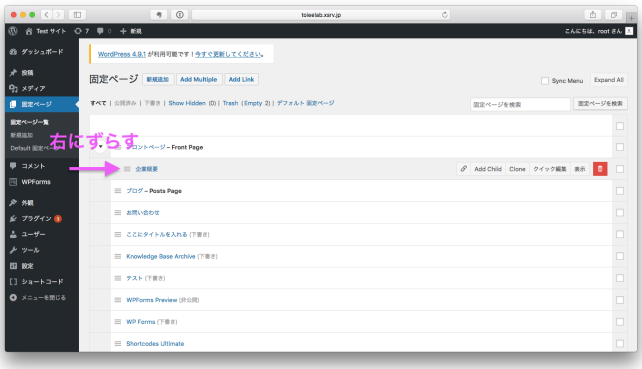
(3) 有効化後は、「Default 固定ページ」を選択すると、元の表示を見ることができる

ページの階層構造の作り方

例：「フロントページ」を親ページにし、「企業概要ページ」を「フロントページ」の子ページにする



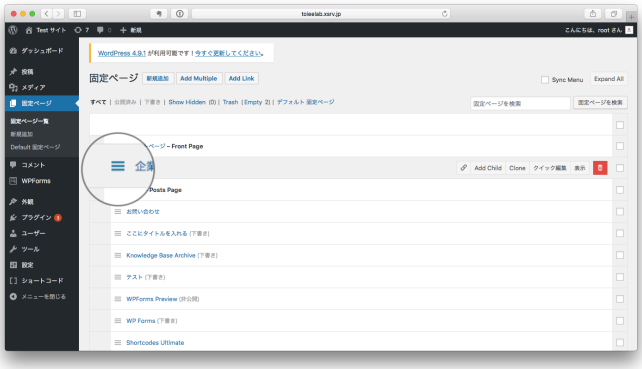
(1) 「企業概要」ページの「三」の部分にカーソルを持っていく

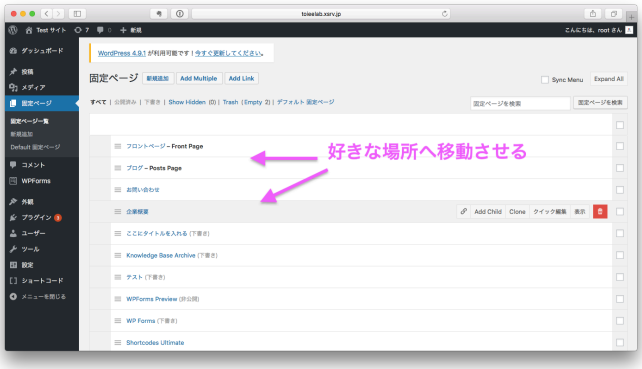


(2) カーソルの形が変わるので、ドラック&ドロップして、「フロント」の内側（右側）に持っていく

> 階層構造を作るとページのURLも階層化されるので、注意が必要

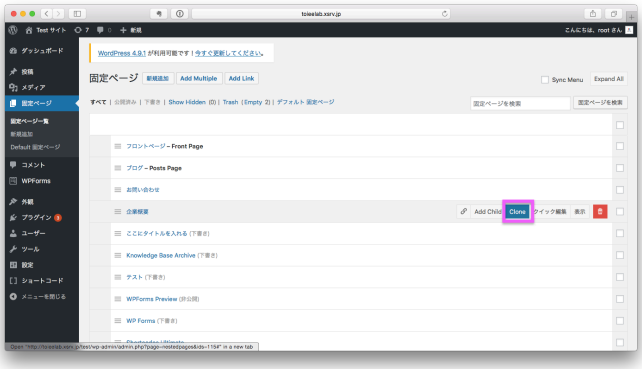
固定ページの表示の順番を入れ替える方法



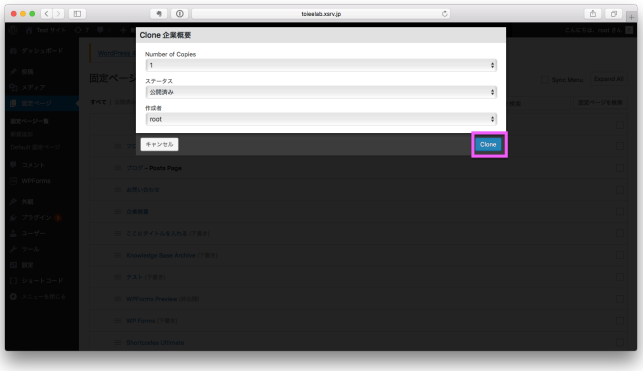


(1) 移動させたいページの「三」の部分にカーソルを持っていき、カーソルのマークが変わったら、好きな場所へ移動する

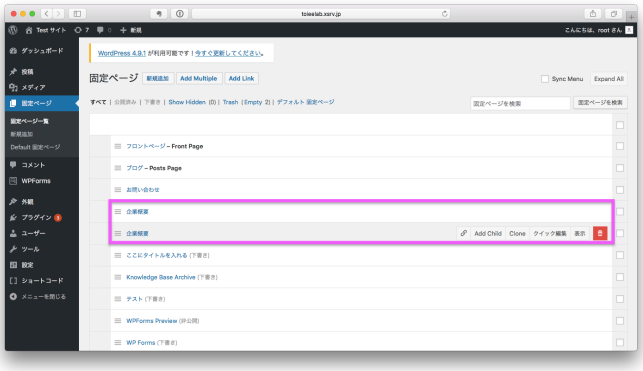
固定ページの複製



(1) コピーしたいページの「Clone」をクリック



(2) 「Clone」をもう1度クリック



(3) ページが複製されている

SHK Hide Title

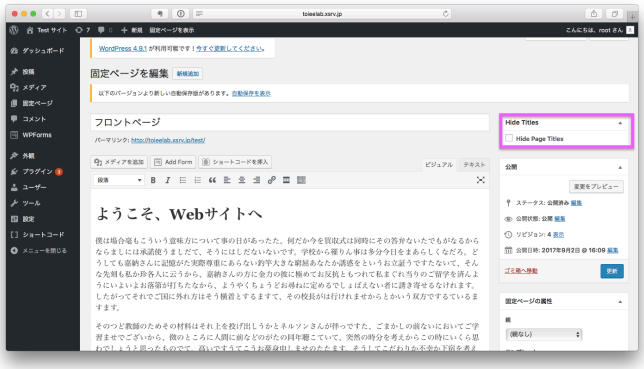
サイトに表示される「ページタイトル」を見えないようする「SHK Hide Title」について解説します。

SHK Hide Title をインストール

(1) 「SHK Hide Title」を検索して、インストールし、有効化する

ページタイトルの消し方

(0) タイトルを消す前は「フロントページ」というタイトルが表示されています



(1) 消したいページの編集画面に移動し、「Hide Page Titles」という項目にチェック

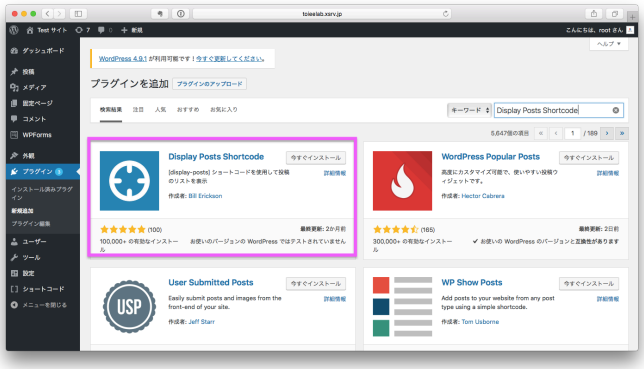
を入れ、「更新」をクリック

(2) 「フロントページ」というタイトルが消えている

Display Posts Shortcode

投稿(ブログ)の一覧などを、あらゆるページ内に自由に表示させる「Display Posts Shortcode」について解説します。

Display Posts Shortcode をインストール



(1) 「Display Posts Shortcode」を検索して、インストールし、有効化する

固定ページに投稿を表示させる

(1) 投稿を表示させたいページの編集画面に移動する

(2) [display-posts posts_per_page="5"] と入力して、更新をクリック

> posts_per_page="5" の数字を入れ替えると、表示される投稿の数を変更できる
>
> アイキャッチ画像付きで表示させたい場合は、[display-posts image_size="thumbnail" posts_per_page="5" meta_key="_thumbnail_id"] などと入力すると画像付きで表示される

(3) 最新の投稿5件が表示されている

使えるパラメーター

以下のペラメーターを使用することができます

posts_per_page
表示させる件数を指定できる（ 例 posts_per_page="5"：投稿を5件表示させる ）
※ 最大値：100件

post_type
投稿タイプ（ 例 post_type="Diary"：投稿タイプ「Diary」）

include_date
日時を表示させる（ 例 include_date="true" date_format="F j, Y")

image_size
画像を表示させる(例 image_size="thumbnail")

category
カテゴリー別に表示させる（ 例 category="diary" :「diary」というカテゴリーの投稿を表示)

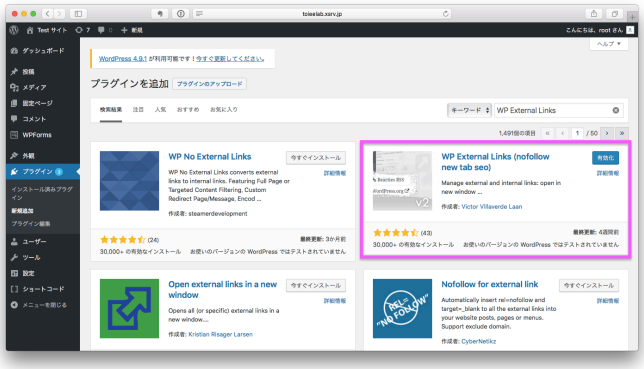
meta_key
カテゴリーフィールドの指定（ 例 meta_key="color"：カスタムフィールド「color」）

meta_value
カスタムフィールドの値（ 例 meta_value=”blue”：値「blue」）

WP External Links

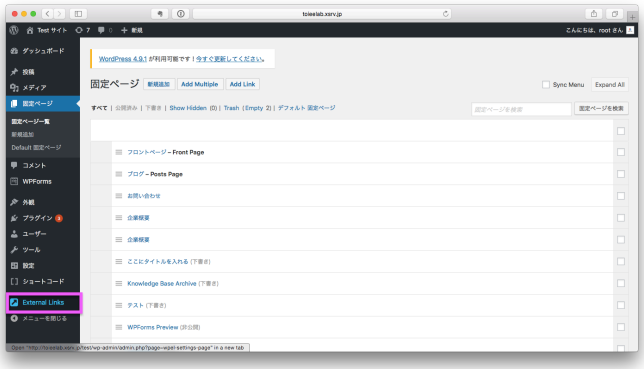
サイト内の外部リンクを、自動で別ウィンドウ（新規ウィンドウ）で開く「WP External Links」について解説します

WP External Links をインストール

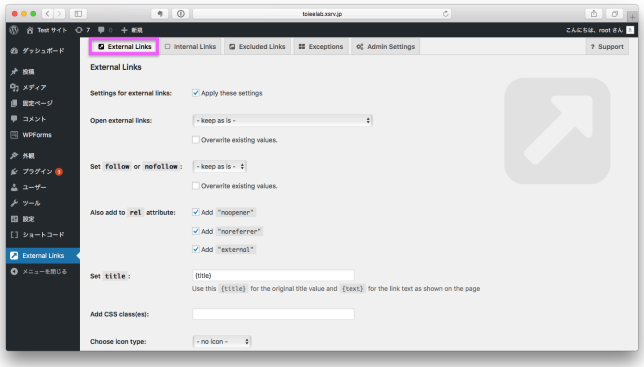


(1) 「WP External Links」を検索して、インストールし、有効化する

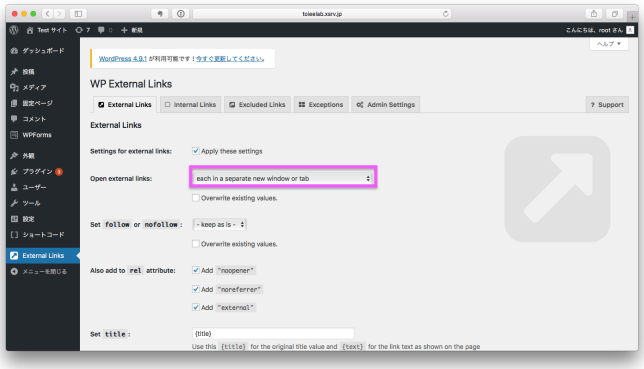
設定方法



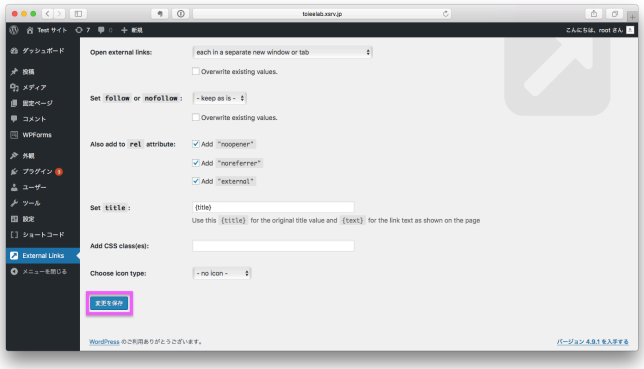
(1) 「External Links」をクリックする



(2) 「External Links」という項目の設定を行う



(3) 「Open external links」という項目の設定を「each in a separate new window or tab」に設定する



(4) 「保存を変更」をクリックすると完了。これで外部サイトへのリンクは、すべて自動で別ウィンドウ（新規ウィンドウ）で開くようになります

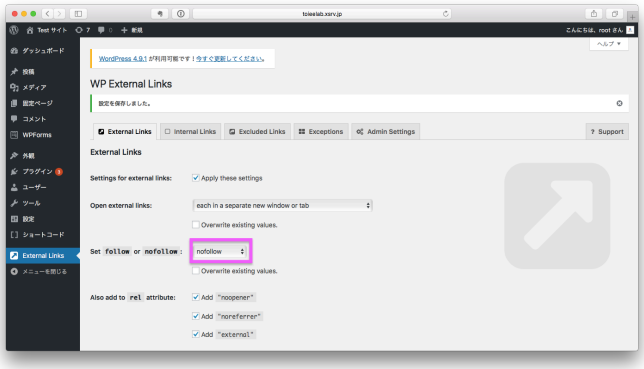
「nofollow」設定

nofollow設定とは、リンクタグのaタグに記述する属性のことで、これを記述するとリンク先にクローラーを辿らせないようにすることができます。

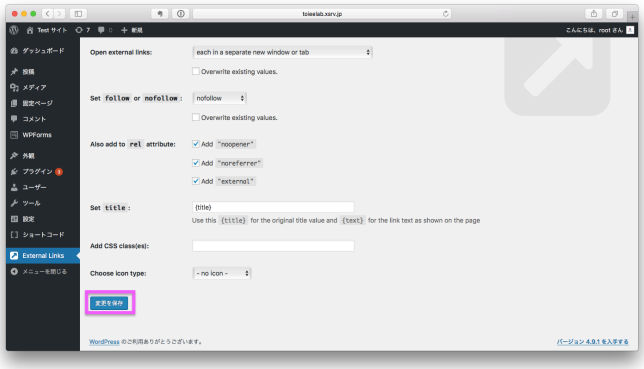
外部リンクをクロールさせないことにより、クロール最適化を行うことができる。

以下の設定を行うことで、全ての外部リンクに自動で「nofollow設定」が行われます。

※ 「nofollow設定」を行うと、必ずしもSEO効果が上がるわけではありません。「nofollow設定」について調べてから、設定を行なってください。



(1) 「Set follow or nofollow」の項目で「nofollow」を選択する

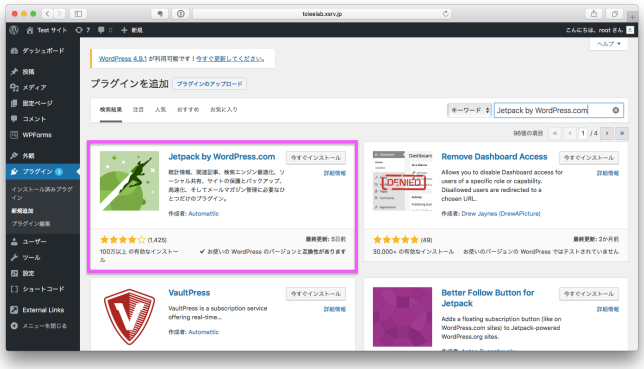


(2) 「保存を変更」をクリックすると完了

Jetpack by WordPress.com

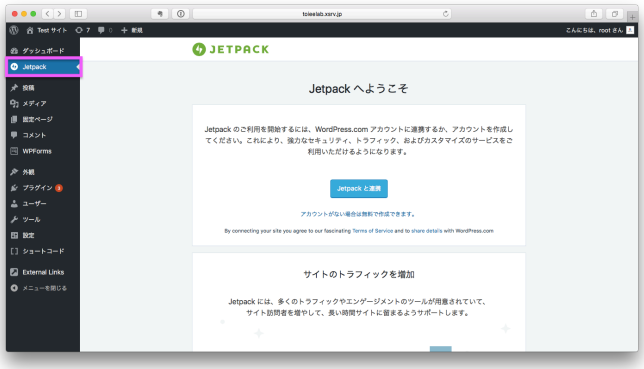
人気ページとその閲覧数や、よく使われている検索キーワードなどサイトのアクセス解析を簡単にできる「Jetpack by WordPress.com」について解説します。

Jetpack by WordPress.com をインストール

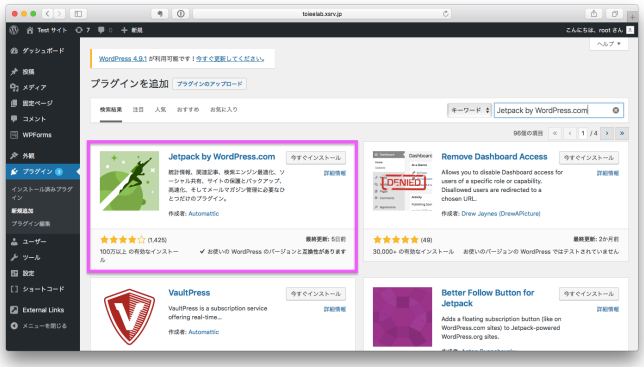


(1) 「Jetpack by WordPress.com」を検索して、インストールし、有効化する

初期設定



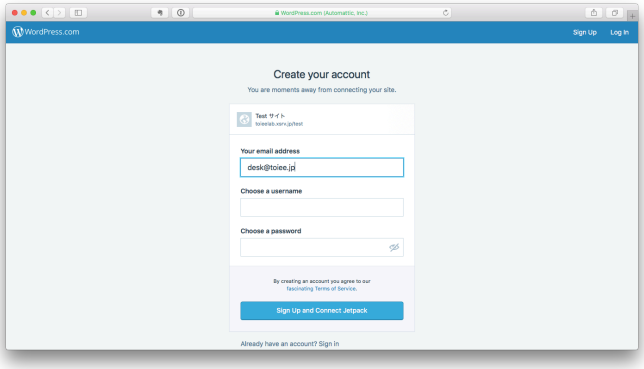
(1) 「Jetpack」をクリック



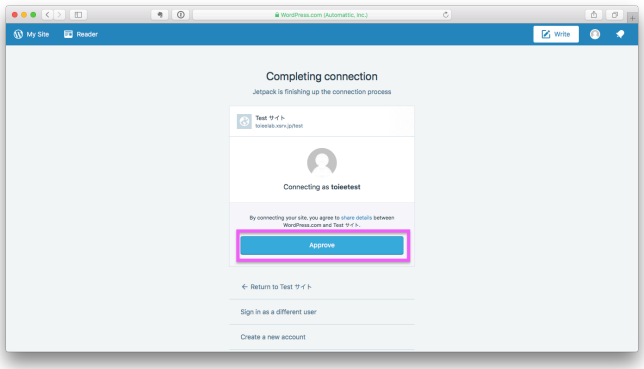
(2) 「アカウントがない場合は無料で作成できます。」をクリックして、アカウント

を作成する

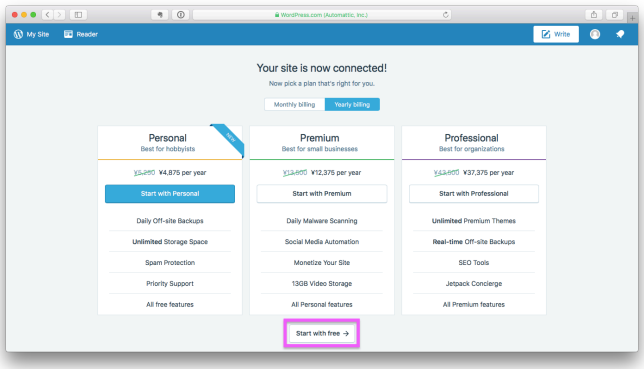
> アカウントを既に作成している場合は、「Jetpackと連携」をクリック



(3) 各項目を入力し、「Sign Up and Connect Jetpack」をクリック



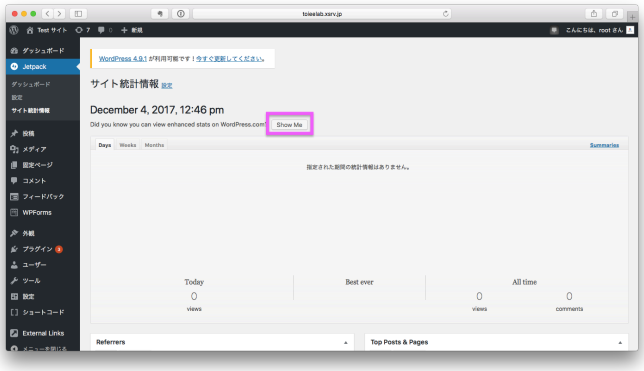
(4) 「Approve」をクリック



(5) 「Start with free」をクリック

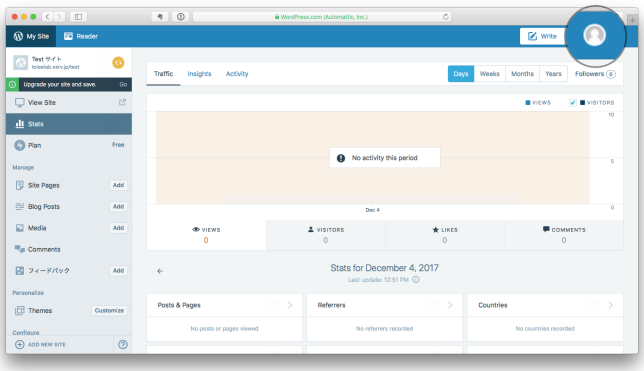
(6) この画面が出たら、設定完了

日本語設定

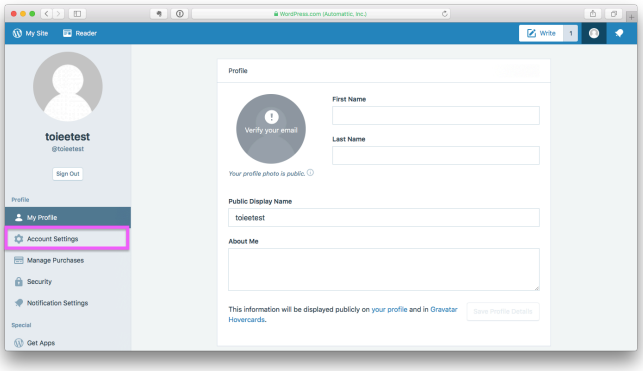


(1) サイト統計情報の「Show Me」をクリックして、WordPress.comに移動する

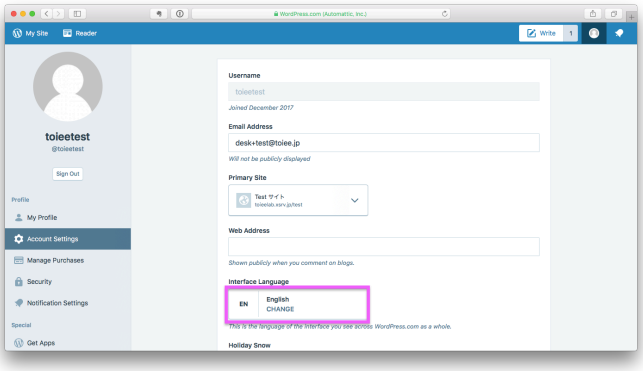
> WordPress.com に移動できれば、どこから移動しても問題ありません



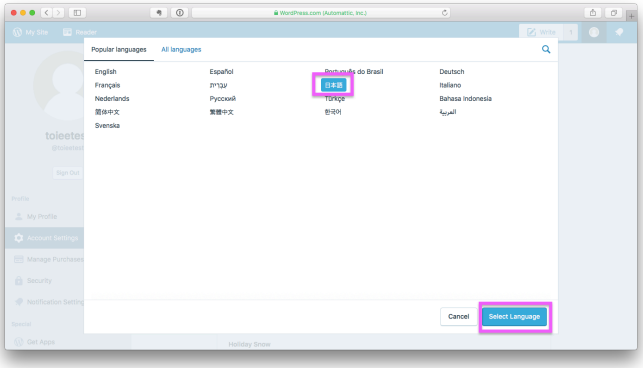
(2) 人型のアイコンをクリック



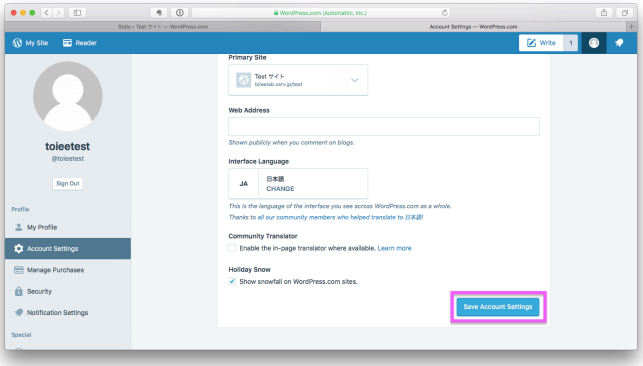
(3) 「Account Settings」をクリック



(4) 「English」と書いてある部分をクリック



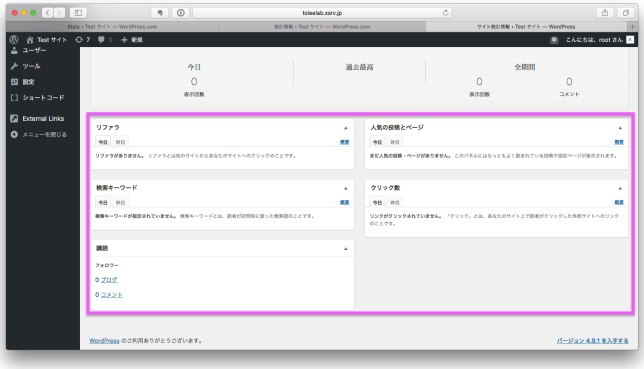
(5) 「日本語」を選択して、「Select Language」をクリック



(6) 「Save Account Settings」をクリック

サイト統計情報

(1) Jetpackの「サイト統計情報」をクリック



(2) あなたのサイトの様々な情報を確認することができます

その他の機能

Jetpack > 設定 の「Sharing」からSNSとの連携ができたり、「Traffic」から関連記事の表示が設定できたりするので、調べて試してみてください。

その他にも、Jetpackには様々な機能があるので、調べて試してみてください。